

令和3年度における前年度繰越金¹活用計画

令和2年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者一人当たりの課税額の増があったものの、法人市民税においては、一部法人の特殊要因がなくなったことなどにより、前年度と比較して13億1000万円余の減（予算との比較では13億2000万円余の増）の総額472億9000万円余となりました。一般会計の実質収支は53億4000万円余であり（元年度実質収支30億1000万円余）、単年度収支もプラスとなり、市税の増収分等を財政調整基金に積立てたことから、実質単年度収支は25億7000万円余のプラスとなりました。

この実質収支については、感染症拡大の影響が今なお不透明であり、市税など主要な一般財源の複数年次に渡る減収影響が懸念されるとともに、感染症対策のほか公共施設マネジメントや都市基盤整備費などの大きな財政需要も想定されるため、財政調整基金をはじめ、各種基金積立てに優先的に財源配分することとします。

このため、繰越金活用可能額から、国・都支出金等の過年度返還金見込額や、新型コロナウイルス感染症対策のほか、市内事業者の受注機会確保や発注時期の平準化につなげる公共建築物維持保全工事の前倒し想定分などを差し引いた全額を基金に積み立てます。その他の追加財政需要に対しては、厳に抑制することとし、対応が必要な場合は、歳入確保・経費縮減の取組（歳入増額、歳出減額）や財政調整基金からの繰入金等で対応します。

令和2年度決算剰余金(単位：千円)

歳入		歳出	
最終予算額	予算・決算額	最終予算額	予算・決算額
	125,779,397		125,779,397
歳入決算額	126,482,529	歳出決算額	120,667,145
収入率	100.56%	執行率	95.94%
歳入比較額 a	703,132	歳出比較額 b	5,112,252

形式収支c(a+b)	5,815,384	標準財政規模	
繰越事業費充当繰越金 d	470,030		50,981,656
実質収支e(c-d)	5,345,354	実質収支比率	10.5%
3年度繰越金予算計上額 f	500,000	予算規模比率	4.2%
3年度実質活用可能額e-f	4,845,354	※2年度 2,512,393	
		※元年度3,325,326	

3年度実質活用可能額 Z 4,845,354

歳入補正見込み		歳出補正見込み	
特別会計繰入金	200,000	追加財政需要額	1,630,000
国民健康保険事業会計	29,000	<支払内容>	
介護保険事業会計(約30%想定)	120,000	国・都支出金等返還金	930,000
後期高齢者医療特別会計	51,000	市内事業者受注機会確保、 コロナ関連等	700,000
合計 A	200,000	合計 B	1,630,000
繰越金優先活用額		Z+A-B	
基金積立用途額	3,415,354		
財政調整基金	1,700,000		令和3年度末想定55.8億円
公共施設整備基金	805,354		令和3年度末想定85.2億円
都市基盤整備事業基金	730,000		令和3年度末想定18.1億円※
子ども・若者基金	60,000		令和3年度末想定2.1億円※
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金	120,000		令和3年度末想定17.1億円※

※令和2年度寄附金の積み残し分を含む

¹ 繰越金とは・・・N-1年度からN年度に繰り越した金額であり、決算上の純剰余金である純繰越金（次年度の補正財源）と前年度から繰り越された歳出予算の財源に充てるべき繰越金（繰越事業充当の財源）に区分されます。

◆ 基金（繰越金活用計画額を加算した令和3年度末残高見込み）

1 基金の状況（単位：百万円）

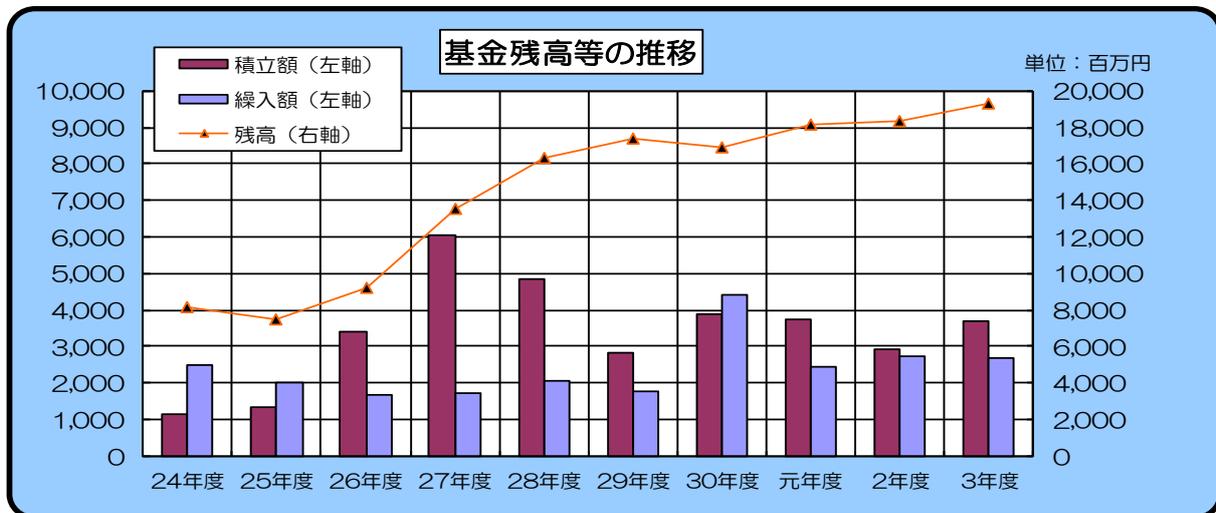
区 分	元年度	2年度			3年度（見込み）		
	残高	積立	取崩し	残高	積立	取崩し	残高
合 計	18,166	2,924	2,714	18,375	3,680	2,692	19,364
財政調整基金	4,940	1,304	1,066	5,177	1,701	1,302	5,577
減債基金	44	0.01	0	44	0.01	0	44
特定目的基金	13,182	1,620	1,648	13,154	1,979	1,390	13,743
公共施設整備基金	8,175	804	687	8,292	911	685	8,518
都市基盤整備事業基金	1,739	235	454	1,519	741	450	1,811
井上欣一社会福祉事業基金	1,157	80	39	1,197	79	41	1,235
国際交流平和基金	96	0.1	6	90	0.3	9	81
子ども・若者基金	209	34	68	175	60	27	208
職員退職手当基金	75	0.0001	0	75	0.02	0	76
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金	1,731	292	354	1,669	187	144	1,711
新型コロナウイルス感染症対策基金		174	39	136	0.002	33	103

※令和2年度までは決算額、令和3年度は見込額（繰越金活用計画額を加算、利子積立て含む）
 ※表示単位未満を四捨五入していますので、合計値と合わない場合があります。

2 基金の推移（単位：百万円）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
積立額	1,152	1,319	3,397	6,075	4,828	2,845	3,901	3,736	2,924	3,680
財政調整基金	444	572	1,501	1,119	478	1,038	632	1,981	1,304	1,701
繰入額	2,489	2,004	1,687	1,737	2,045	1,767	4,408	2,467	2,714	2,692
財政調整基金	1,100	980	401	230	630	470	2,732	642	1,066	1,302
(当初予算分)	(1,100)	(980)	(374)	(230)	(630)	(470)	(1,332)	(570)	(600)	(1,100)
残高	8,180	7,494	9,204	13,541	16,324	17,403	16,896	18,166	18,375	19,364
財政調整基金	3,704	3,297	4,396	5,286	5,133	5,701	3,601	4,940	5,177	5,577

※令和2年度までは決算額、令和3年度は見込額（繰越金活用計画額を加算）



◆参考 基金（令和2年度繰越金活用計画に対する実績）

1 基金の状況（単位：百万円）

区 分	30年度	元年度			2年度（積立額はA+Bの合計）				
	残高	積立	取崩し	残高	Aその他積立	繰越金活用計画	B繰越金活用積立	取崩し	残高
合 計	16,896	3,736	2,467	18,166	1,059	1,864	1,864	2,714	18,375
財政調整基金	3,601	1,981	642	4,940	304	1,000	1,000	1,066	5,177
減債基金	43	0.01	0	44	0.01	0	0	0	44
特定目的基金	13,252	1,755	1,826	13,182	756	864	864	1,648	13,154
公共施設整備基金	7,882	993	700	8,175	150	654	654	687	8,292
都市基盤整備事業基金	2,091	270	623	1,739	75	160	160	454	1,519
井上欣一社会福祉事業基金	1,053	131	28	1,157	80	0	0	39	1,197
国際交流平和基金	104	0.04	8	96	0.1	0	0	6	90
子ども・若者基金	218	1	10	209	34	0	0	68	175
職員退職手当基金	75	0.02	0	75	0.0001	0	0	0	75
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金	1,829	360	457	1,731	242	50	50	354	1,669
新型コロナウイルス感染症対策基金					174	0	0	39	136

※令和2年度は繰越金活用計画に対する実績額を表示し、積立額はA+Bの合計29億2300万円余

◆参考 基金（令和3年度当初予算時点）

区 分	元年度 残高	2年度（見込み）			3年度（見込み）		
		積立	取崩し	残高	積立	取崩し	残高
合 計	18,166	2,928	2,726	18,368	265	2,490	16,143
財政調整基金	4,940	1,304	1,066	5,178	1	1,100	4,079
減債基金	44	0	0	44	0	0	44
特定目的基金	13,182	1,624	1,660	13,146	263	1,390	12,020
公共施設整備基金	8,175	806	687	8,294	106	685	7,715
都市基盤整備事業基金	1,739	235	454	1,520	11	450	1,081
井上欣一社会福祉事業基金	1,157	80	39	1,198	79	41	1,236
国際交流平和基金	96	0	9	87	0	9	78
子ども・若者基金	209	35	77	166	0	27	139
職員退職手当基金	75	0	0	76	0	0	76
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金	1,731	293	354	1,670	67	144	1,592
新型コロナウイルス感染症対策基金		174	39	136	0	33	103

※元年度は決算額、2年度は見込額、3年度は予算額。

※表示単位未満を四捨五入していますので、合計値と合わない場合があります。